

市民公開シンポジウム

日本作物学会第262回講演会

不安定な食料安全保障情勢に向けた 北海道農業の果たす役割

気象変動と担い手不足に対処する北海道農業の新たな挑戦！

開催日時 令和8年9月16日(水)13:15～16:45

開催場所

酪農学園大学 学生ホール(ハイブリット開催)
Teamsリモート参加可(最大400名)
当日参加も可 人数が多い場合立見の可能性あり



1. 需給バランスを 揺るがす国内外の情勢
(酪農学園大学 吉岡徹)
2. 北海道の収量向上の歴史と生産量の推移、
および近年の情勢に向けた技術的対策

[1] イネ

- a) 省力化技術(酪農学園大学 林怜史)
- b) 温暖化対策(北海道立総合研究機構
上川農業試験場 熊谷聡)

- [2] コムギ(北海道小麦技術事務所
代表 池口正二郎)

- [3] 子実用トウモロコシ
(日本メイズ生産者協会 代表理事 柳原孝二)

- [4] 新規作物
 - a) ラッカセイ(帯広畜産大学 秋本正博)
 - b) サツマイモ(元拓殖短期大学 大道雅之)

3. パネルディスカッション
コーディネーター：秋本正博 (帯広畜産大学)



共催：酪農学園大学、日本育種学会・日本作物学会
北海道談話会
後援：江別市
問合せ先：cssj262@gmail.com
011-388-4785

事前
予約
必要

